

3 他誌掲載論文、学会及び協議会発表

(1) 牛のと畜時における不動化の方法と多発性筋出血（いわゆるスポット）の発生の関係

食肉検査部門

川崎成人，池田幸司，中川善宏

ア 発表先

平成 21 年度全国食肉衛生検査所協議会近畿ブロック会議 技術研修会 平成 21 年 11 月 5 日（神戸市）

平成 21 年度全国食肉衛生及び食鳥肉衛生技術研修会並びに衛生発表会 平成 22 年 1 月 20 日（東京都）

イ 抄録

多発性筋出血（いわゆるスポット）は，腸管，横隔膜や枝肉に認められる点状の新鮮な出血で，と畜場や卸売市場で発見される。牛のと畜時における不動化の方法とスポットの発生の関係について検討した。と畜時にエアガンを用いて打額し，プラスチックロッドを用いて不動化した場合，合計 7.1%の個体にスポットが認められた。プラスチックロッドの代わりにパルス電流によって不動化した場合，発生率は 6.0%と，有意差は認められなかった。しかし，内臓（3.3%）や枝肉（0.6%）での発生率は低下した。しかし，パルス電流による不動化法ではプラスチックロッドを用いた場合と比較して，横隔膜や心臓で認められるスポットは重度化する場合があった。これらの結果，パルス電流による不動化は牛におけるスポットの発生抑制に有用であると考えられた。